

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2021年 4月 1日

事業所名 サポートセンターすたありっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適	✓		個室はないが、パーテーションで仕切っただけ個別で話すことができる空間ができるよう努めている	
	2	職員の配置数は適切である	✓			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓			車いすなど身体障がいの方の受け入れは現設備では難しい為、まずは物の配置の見直し等環境を整えていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参	✓		個別支援計画の目標について毎回職員で達成できているかどうか会議を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に	✓		聞き取り調査票を配布し、今後の支援の方向性について意向を伺っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開して	✓			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につ	✓			

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓			新入職員研修等は不足している為、さらなる充足へ向けてコミュニケーションを図っていく
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を	✓			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用して	✓		中高生で統一されたアセスメントツールを使用して記録を行っている	
	11	活動プログラムの立案をチームで	✓			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を	✓			

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担に	✓		毎朝、朝礼実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓			気になる点があった際は当日話すことができているが、振り返りはできていない時間が発生していることもある為、毎日短時間でも話すことができるよう改善していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげて	✓			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援	✓			
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も	✓			

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に	✓			
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え	✓			重度心身障害等医療的ケアが必要な方は現在いらっやらない
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互	✓			
24	中学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提	✓			
25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研	✓			専門機関とのつながりは不足している為、今後連携を図っていく
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会		✓		

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		✓		コロナウイルス等があったが、今後は積極的に参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を	✓			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援		✓	ニーズに合わせて、適宜相談等は承っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を	✓			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓			研修等にはこれからも参加したり、事業所内で話すことで日々支援に対してのスキルを研鑽していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援してい		✓		コロナウイルス等もあったが、今後連携もとっていくことができるように体制を整えていく。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切	✓			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し	✓		HP掲載やプログラム予定の詳細をスケジュールと共に配布している	会報等は発行できていない為、保護者様に対してわかりやすい発信方法を今後も模索していく
	35	個人情報に	✓			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をして	✓			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		✓	現在、利用者向けではあるが、『なんでも相談会』を実施。	今の世間状況としても業界としても第三者の目が入りづらいような少し閉じてしまっている部分がある為、地域にもわかりやすい運営を図っていく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい	✓		研修用の動画を見ながら解説を加えていくなど職員同士で共有している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を	✓		月末にはプログラムの一環として避難訓練を実施している	

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓				各職員研修に参加している。また今後はその知識を周りに伝えていく機会をこまめに設けていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス	✓				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	✓			必要に応じて対応	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して	✓				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 2021年 4月 1日

事業所名 サポートセンターす 保護者等数(児童数) 30 回収数 21 割合 7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏 まえた 対応
環境・体	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保され	17	4			他の子どもたちには聞いてほしくない話をするスペース(個室)があると助かる	できるだけ個別で話す方と周りとの場所を区切ることができるように配慮してい
	2 職員の配置数や専門性は適切である	19			1		

制整備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされ	13	2	1	5	軽度の通所の方が多いため	バリアフリーの観点からも訓練室内の過ごし方について考えていく
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス	21					
	5	計画*1が活動プログラム*2が固定化しないよう工夫され	21					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会	4	4	3	10		
保	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされ	21					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が	21					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われて	20		1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援され	4	2	5	10		

護者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適	19			2		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなさ	20			1		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者	15		1	5		
	14	個人情報に十分注意している	20			1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	15	1		5		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	16			5		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	19	2				
	18	事業所の支援に満足している	21					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性

'0%